

第 108 回 日商簿記検定試験 2 級 予想の結果と講評

		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商 業 簿 記	第 1 問	仕訳問題	仕訳問題	仕訳問題
	第 2 問	特殊仕訳帳	伝票（推定）	有価証券の記帳
	第 3 問	決算三勘定 的中	精算表作成	本支店会計
工 業 簿 記	第 4 問	製造原価報告書作成	原価要素別データからの仕掛品勘定等の作成	本社工場会計の仕訳
	第 5 問	総合原価計算	直接原価計算	製造間接費の差異分析 第 4 問での中

前回よりも合格に近づきやすい問題であったと思います。

第 1 問の仕訳については、基本的な問題が多く出題されました。注意が必要なのは 3 . 商品の焼失分については直接仕入勘定を減らします。

第 2 問の仕訳日計表作成、総勘定元帳の記入については練習でやった方も多かったと思います。ぜひとも満点を狙いたいところです。

第 3 問。一部推定はあるものの、部分的に正解できる所も多くありました。注意が必要なのは、6 . 建物の資本的支出分について耐用年数が異なっている所、備品については「当期首より」という表現から 4 年分の償却費が残高試算表計上されている所、7 . 償却原価 4,800 円を 8 年で償却していき、すでに 1 年度目の償却が行われている所です。

第 4 問については、これまで第 5 問でよく出題されていた問題をコンパクトにしたもので、(2) の貸方・予定配賦額の記入まではがんばって解答したいところです。

第 3 問での注意点を落とした方は、第 5 問で挽回を狙いたいところです。問題文 1 行目の正常操業圏でデータの 하나가省かれます。問 1 では最大と最小の「売上高」を問われていますから、問題文 1 行目の販売単価 100 円を用いることになります。データの総原価を用いない点に注意しましょう。

第 1 問、2 問、3 問、4 問で確実に押さえたい所を正答し、第 3 問の難点または第 5 問でどれだけ正答できたかが合否の分かれ目になってくると思います。